

大学の世界展開力強化事業（平成28年度採択）事後評価結果

大学名	○京都大学、関西大学
整理番号	B5
事業名	気候変動下でのレジリエントな社会発展を担う国際インフラ人材育成プログラム

◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

総括評価 S	事業計画を上回る成果をあげており、事業目的は十分に実現された。
コメント 本事業は京都大学の「京都大学の改革と将来構想(WINDOW 構想)」に示す教育のグローバル化及び関西大学の「国際化戦略 2014-2023 TRIPLEI 構想」の一環として、ASEAN の相手大学との協力を通じて、社会基盤・環境分野での「インフラ人材」育成を目指し実施された事業である。 事業展開では、CMLV 諸国（カンボジア・ラオス・ミャンマー・ベトナム）を含む ASEAN 連携大学との間で、階層的で魅力的な5つの国際教育プログラムを実施しており、その内、協働学生指導プログラムと、それと連動した気候変動適応ウィンタースクールは、特に優れた取組である。学生の派遣・受入のどちらに関しても、学生たちが安全に移動し、安心して学業に取り組めるための支援を適切に行っており、学生たち一人一人に対して細やかなサポートを行っていることから、事業実施の環境整備に関して真摯な取組がなされたものと言える。また、連携大学等の支援による参加や自費参加も含めて目標を上回る参加者数を達成し計画以上の成果を挙げている点、更に、本事業の成果に基づき、ASEAN 域内の大学のみならず国際的な大学ネットワークの拡張を予定している点は特に評価できる。 一方で、日本人学生の派遣先はタイが中心であり、CMLV 諸国への日本人学生派遣数が目標を大きく下回ったことは残念である。本事業の趣旨である CLMV 諸国全体との連携を更に発展させること、大学院生を対象とする中長期の共同教育を量的に拡大することを期待したい。また、国内の大学への成果の波及に関して更なる取組を進めていくことが望まれる。 最後に、大学の世界展開力強化事業による補助期間は終了したが、引き続き質保証を伴う発展的な事業展開の実施によって、我が国の大学教育を牽引し、更なるグローバル展開力の強化に寄与されることに期待する。	